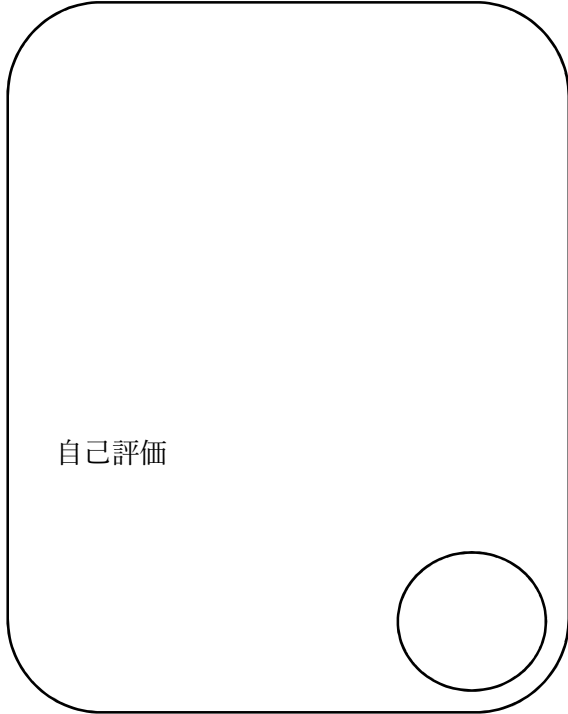
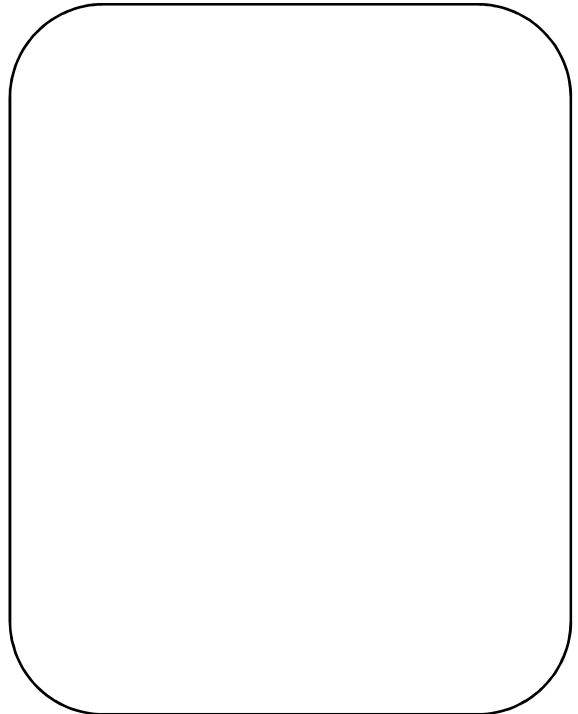


①本日の目標

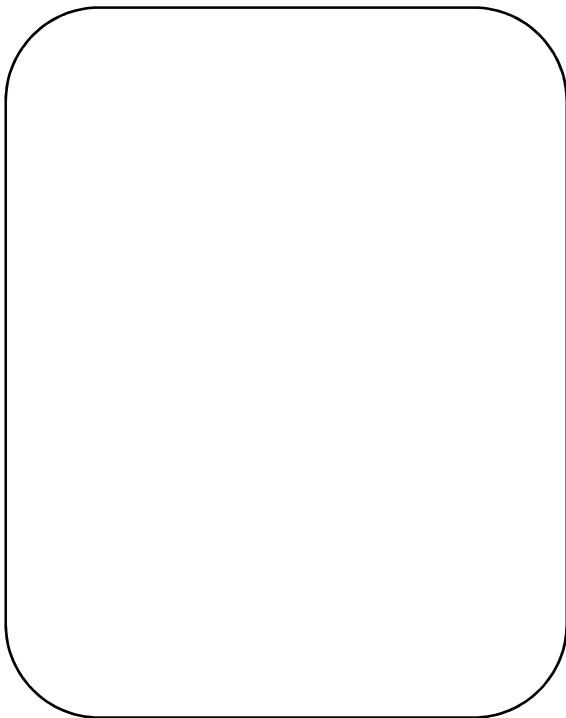
自己評価



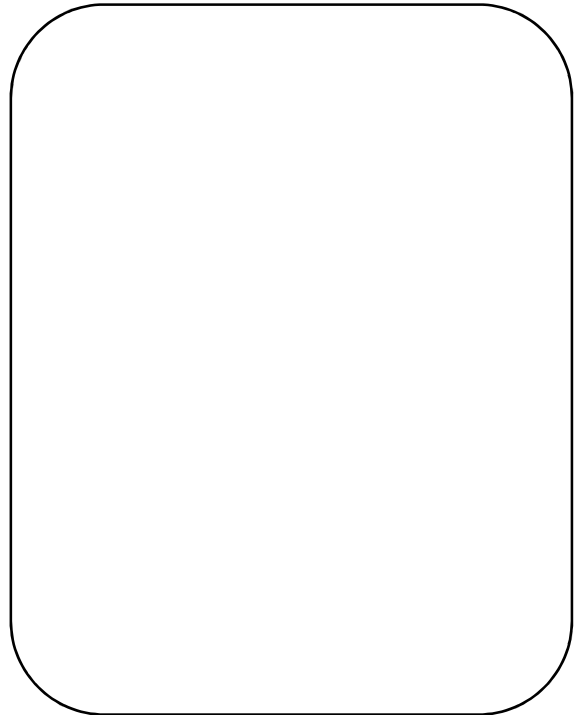
②本日のインパクト



③ ②の理由



今日の学び



指導者確認

【状況・目的】プロセスレコードの場面を具体的に記述 (いつ・どこで・だれが・何をしたか)
 この場面を選んだ理由、その場面での自分の気持ちは何か、何を明らかにしたいのかを具体的に記述する。

患者が言ったり行ったりした事	私が考えたり感じたりした事	私が言ったり行ったりした事	解 釈・分 析

【プロセスレコードを振り返り、明らかになったことは何か】

【プロセスレコードを振り返り見えてきた自己の傾向
 自己の強みと弱みの両視点から見つめてみよう】

【プロセスレコードを振り返り、看護に必要なコミュニケーションとは何か考えてみよう】

③望ましい姿

② 実習目標

① 気がかりなこと・その理由

④目標を達成させるための計画を含む

8:30

12:00

16:30

⑤本日の実習を通しての学び

⑥翌日につなげたいこと、活かしたいこと

基礎看護学実習 実習記録Ⅳ No.() 令和 年 () 月 () 日

学籍番号() 氏名 ()

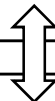
看護問題の解決と看護計画を立案するまでの過程 (因果関係を整理するための用紙)

気がかり

問題・予測 (予測できる問題、成り行き)



事象 (情報)



原因

患者の現象の因果関係と日常生活援助の実施内容の関係や、現象の因果関係から問題点・患者のねがう生活を関連付けて全体像に示す。

基礎看護学実習 実習記録 VI (リフレクションシート)

令和 () 年 () 月 () 日

学籍番号 () 氏名 () 担当看護師 ()

状況の記述	批判的分析

自己への気づき

批判的分析

状況

気づきの統合

評価

学籍番号() 氏名()

学習活動	具体的な評価規準	目標との関連	評価資料	評価基準		
				すばらしい	よい	歩努力を要する
患者とのコミュニケーションを振り返り、自己の傾向を知る。	患者とのコミュニケーションを振り返り、自己の傾向を客観視している。	1	実習記録Ⅱ カンファレンスの発言	態度・傾聴・伝え方などの視点からコミュニケーションの取り方を振り返り、自己の傾向を表現できている。 30	態度・傾聴・伝え方などの視点からコミュニケーションの取り方の振り返りができている。 25	コミュニケーション場面を挙げることができている。 5
看護に必要な患者とのコミュニケーションについて表現する。	相手を尊重した関わりを具体的に表現している。	1. 2	実習記録Ⅰ・Ⅱ カンファレンスの発言 レポート	患者と看護師の関わり、自己の患者との関わりから、患者の思いを尊重するとはどういうことか具体的に表現できている。 30	患者との思いを知るために必要な関わりを工夫し、患者の思いが表現できている。 20	患者にあわせて話ができている。看護師と患者の関わりが表現できている。 5
グループ内で協力しあう。	グループメンバーと協力して実習に臨んでいる。	3	実習関係者、グループメンバーとのやりとりの状況	グループの一員としてお互いに助言をしあい、リーダーやメンバーとしての役割ができている。 10	グループの一員として他のメンバーと協力し、実習できている。 8	他者より求められグループメンバーへの意見や役割ができている。 5
看護者としての倫理的規準を持ち、行動している。	情報管理を適切に行っている。	4	情報管理の状況 報告連絡相談の状況	個人情報の保護のため、記録の取り扱い、会話の場所など情報漏洩しない行動ができている。 10	情報の取り扱いに不備があることに気づき、すぐに対処行動ができている。 8	情報の取り扱いについて不適切な状況、周囲への影響を考慮することができない。 1
	礼節のある態度や学び続ける姿勢が見られている。	5	身だしなみ・態度・言葉遣い 実習記録Ⅰ 記録の提出状況	適切な身だしなみ・態度・言葉遣いで礼節のある態度の意味を理解し行動している。わからないことは自ら調べ、アドバイスをもらい積極的に実習できている。 10	指導の意味を理解し、適切な身だしなみ・態度・言葉遣いについて行動を変えることができている。わからないことはアドバイスを受け、調べる・相談できる行動ができている。 8	適切な身だしなみ・態度・言葉遣いについて指導を受けたが行動を変えることができていない。わからないことはアドバイスを受けて調べる、相談する行動ができていない。決められた記録を提出していない 1
	医療従事者として、医療チームや患者への影響を考え健康管理に努めている。	6	健康状態 報告連絡相談の状況	自分の体調管理による周囲への影響を考え感染予防に努めた行動をしている。 10	体調管理についてとるべき行動について指導を受けそれに従っている。 5	体調管理に影響する約束事を守れていない。 1
指導者助言 指導者サイン()				欠課時間 時間	自己評価	実習評価

基礎看護学実習 I

◎自己評価の理由（評価基準の内容を確認し、自己評価の理由を具体的に記述しましょう） 学籍番号（ ） 氏名（ ）

学習活動	具体的な評価基準	目標との関連	評価資料	評価基準（自己評価） すばらしい・よい・ 今一歩努力を要する	自己評価の理由 「すばらしい・よい・努力を要する」 3つの評価基準の内容を理解し自己評価した理由を具体的に記述しましょう。
患者とのコミュニケーションを振り返り、自己の傾向を知る。	患者とのコミュニケーションを振り返り、自己の傾向を客観視している。	1	実習記録Ⅱ カンファレンスの発言		
看護に必要な患者とのコミュニケーションについて表現する。	相手を尊重した関わりを具体的に表現している。	1. 2	実習記録Ⅰ・Ⅱ カンファレンスの発言 レポート		
グループ内で協力しあう。	グループメンバーと協力して実習に臨んでいる。	3	実習関係者、グループメンバーとのやりとりの状況		
看護者としての倫理的規範を持ち、行動している。	情報管理を適切に行っている。	4	情報管理の状況 報告連絡相談の状況		
	礼節のある態度や学び続ける姿勢が見られている。	5	身だしなみ・態度・言葉遣い 実習記録Ⅰ 記録の提出状況		
	医療従事者として、医療チームや患者への影響を考え健康管理に努める。	6	健康状態 報告連絡相談の状況		

目的 患者とその周囲の事象を様々な角度から理解し、看護師として予測する力を養う。

目標：1 現象の因果関係や予測できることについて論理的に説明できる。（気づく力）

2 日常生活援助を看護師と一緒に実施する体験を積み重ね、患者の願う生活の実現と関連づけることができる。（考える力）

3 患者の権利を考え最良の方法で実施できるよう指導者やチームメンバーの助言をうけることができる。（行動する力）

学習活動	評価規準	目標との関連	評価資料	評価基準		
				すばらしい	よい	努力を要する
指導者と共に安全・安楽に日常生活援助を実施する。	自ら考えた方法や指導者の考えた方法を共有しながら一緒に実施している。	2・3	指導者との相談内容 実習記録Ⅲ・Ⅳ 指導者への報告・相談・連絡状況	自分の考えた方法を指導者と共有し、助言をもらいながら自分の考えと、助言内容の理由を区別をつけて表現している。 また、安全・安楽を踏まえた日常生活援助を指導者と共に実施している。 2 0	なぜその援助を必要としているか指導者と話す中で自分の考えをまとめている。 また、安全・安楽を踏まえた援助を実施している。 1 5	指導者の考えに基づいて実施し、指導者の考えをそのまま記述しており、自分の考えた内容と区別して表現していない。 また、安全・安楽を踏まえた援助を実施していない。 3
様々な手段を用いて情報収集を行う。	患者の状態を示すデータを複数あげている。	1	データの内容、数 関連性の説明 実習記録Ⅳ 自己学習ノート	カルテ・指導者・フィジカルイグザミネーションにより得たタイムリーな複数のデータが患者の状態と関連していることを表現している。 2 0	カルテ・指導者・フィジカルアセスメントにより得た複数のデータが患者の状態に関連していることを表現している。 1 5	情報収集したデータが不足しており、かつ患者の状態と関連させることが不十分である。 3
看護問題をあげる。	データの因果関係の説明を積み重ねている。	1	実習記録Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 面接 ミーティングの議題提示と発言内容 自己学習ノート	看護問題が生活や人生に与える影響や問題が解決されないときの予測を過去・現在・未来のつながりを持ち、調べた専門的知識を使って説明している。 2 0	看護問題が生活や人生に与える影響や問題が解決されないときの予測を調べた専門的知識を使って説明している。 1 5	看護問題が生活や人生に与える影響や問題が解決されないときの予測が主観的である。 5
患者のねがいを実現するための道筋を全体像に整理する。	日常生活援助の実践がねがいの実現に向けていくことを理論立てて説明できる。	1・2 3	実習記録Ⅴ（全体像） 最終日カンファレンスの参加状況とその資料	患者とのエピソードや看護場面で看護問題や日常生活援助とどのようにつながっているのか、どのようにしたらねがう姿になるのか関連させて説明している。 2 0	日常生活の援助を通してなぜその援助を必要としているのか事象の原因と照らし合わせて説明している。 1 0	毎日の実習開始までに目標・計画立案や実習記録の追加・修正をすることが難しく、全体像に学びを整理することが不十分である。 5
対象の立場になって考え行動につなげる。	知り得た情報の管理ができる。	3	記録用紙の管理 メモ帳の管理 患者との関わり 学校外での言動	情報を記載した記録物の管理や会話に気をつけプライバシーを守っている。 6	6	情報管理ができていない。 0
	看護学生として良識やマナーの必要性を理解し、患者の権利を考えた行動をしている。	3	時間管理・体調管理・言葉遣い・態度・身だしなみ 実習準備状況	自らの行動を振り返り看護学生として良識やマナーの必要性を理解し、患者の権利を考えた行動をしている。 8	看護学生として良識やマナーを踏まえた行動をしている。 5	看護学生として良識やマナーを考えた行動がとれていない。 0
	対象の状況や思いに沿った行動がとれている。	2・3	患者との関わり 面接	患者の状況や言動を踏まえ、どのような思いでいるのか考えた行動ができる。 6	患者の状況や言動を踏まえどのような思いでいるのか考えている。 4	患者の思いを考えていない。 0
指導者の助言						
				指導者（ ）		中間評価／教員： 学生：
				教員（ ）		最終評価／教員： 学生：

学習活動	評価規準	評価資料	自己評価 すばらしい・よい 努力を要する	自己評価の理由	
				中間評価	最終評価
指導者と共に安全・安楽に生活援助を実施する。	自ら考えた方法や指導者の考えた方法を共有しながら一緒に実施している。	指導者との相談内容 実習記録Ⅲ・Ⅳ 指導者への報告・相談・連絡状況	中間		
			最終		
様々な手段を用いて情報収集を行う。	患者の状態を示すデータを複数あげている。	データの内容、教 関連性の説明 実習記録Ⅳ 自己学習ノート	中間		
			最終		
看護問題をあげる。	データの因果関係の説明を積み重ねている。	実習記録Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 面接 ミーティングの議題 提示と発言内容 自己学習ノート	中間		
			最終		
対象のねがいを実現するための道筋を全体像に整理する。	日常生活援助の実践がねがいの実現に向けていくことを理論立てて説明できる。	実習記録Ⅴ 最終日カンファレンスの参加状況とその資料	中間		
			最終		
患者の立場になって考え行動につなげる。	知り得た情報の管理ができる。	記録用紙の管理 メモ帳の管理 患者との関り 学校外での言動	中間		
			最終		
	看護学生としての良識やマナーの必要性を理解し行動している。	時間管理・体調管理・言葉遣い・態度・身だしなみ 実習準備状況	中間		
			最終		
	患者の状況や思いに沿った行動がとれている。	患者との関り 面接	中間		
			最終		

実習目的 実施内容をリフレクティブに振り返ることで、知識を得る体験を積み重ねる。

実習目標 1 より良い看護を追求する目的で実習中の出来事について省察することができる。(考える力)

2 看護を実施した結果について次へつなげるよう評価することができる。(行動する力)

3 看護師らしく考えることができるよう互いに助言を求める、助言をすることができる。(気づく力)

	学習活動	評価規準	目標との関連	評価資料	評価基準			
					すばらしい	よい	努力を要する	
1	疑問や気がかりになっていることをリフレクションシートに記述する。	状況の記述では学生と対象の両方の感情や言動が表現できる。	1	実習記録Ⅲ・Ⅳ 記述内容 面接	状況の記述では、自己と対象の両方の状況があり、自己の感情とその理由について説明されている。 2 5	状況の記述では対象の言動と自己の言動・思いが記述されているが偏りがある。 1 5	状況の記述では自己の言動や思いのみ記述されている。 1 0	
2	実習中の気がかりな出来事について倫理の原則と照らし合わせて分析している。またカンファレンスでも話し合いをしている。	医療者としての優先順位や患者・家族の気持ちなどさまざまな立場を理解したうえで看護師としての考えを表現することができる。	1.3	実習記録Ⅲ・Ⅵ カンファレンスの 議題提示・発言内容	倫理原則（自律・善行・無害・正義・真実・忠誠・効用）に照らし合わせ自己の気がかりとなった考えを優先順位や様々な立場からリフレクションし行動している。 また、メンバーが前向きに捉えられるように傾聴し承認した行動ができている。 2 5	倫理原則に照らし合わせて分析しており、またメンバーが前向きに捉えられるように傾聴し承認した行動ができています。 2 0	倫理要素kに照らし合わせた分析が不十分であり、カンファレンスでは気がかりとなった自己の意見のみにとどまっている。 1 0	
3	実施に使用した知識、より良い実施をするために活用する知識を挙げる。	対象によりよい看護をするための援助の根拠について述べるができる。	1.2	実習記録Ⅴ・Ⅵ 自己学習ノート 面接	対象によりよい看護を実施するための知識を調べ、根拠と結びつけて表現している。 2 0	対象によりよい看護を実施するための知識を調べている。 1 5	対象によりよい看護を実施するための学習が不足している。 5	
4	実施した結果により次の実施にむけての取り組みを挙げる。	実施した結果について対象によりよい看護をする目的で評価することができる。	1.2	実習記録Ⅲ・Ⅵ Ⅶ	実施した内容が対象にとっての意味、影響、ねがう生活と照らし合わせ、考察し表現している。 また、次にどのように取り組むかを具体的に表現している。 1 5	実施した内容が対象にとってのねがう生活と照らし合わせ考察し表現している。 また、次にどのように取り組むかを表現している 1 0	実施内容と次の実践の取り組みのみ表現されている。 5	
5	医療者としての情報管理や良識、マナーの必要性を考えた行動をする。	医療者として知り得た情報の管理や良識、マナーの必要性を考えた行動がとれる。	3	記録用紙、メモ帳の管理状態 時間管理、体調管理、言葉遣い、態度、身だしなみ	医療者として情報を記載した記録物等の管理や他者に情報が漏れない行動をしている。 また、自らの行動を振り返り、良識、マナーの必要性を考えた行動している。 1 5	医療者として情報を記載した記録物等の管理や他者に情報が洩れない行動をしている。 自己の至らない良識、マナーについて振り返り、行動を変えている。 1 0	情報漏洩に繋がる行動をしている。 0	
指導者の助言							欠課時間数	時間
							中間評価/教員:	学生:
							最終評価/教員:	学生:
指導者 ()								

	学習活動	評価規準	評価資料	自己評価 すばらしい・よい 努力を要する	自己評価の理由	
					中間評価	最終評価
1	疑問や気がかりになっていることをリフレクションシートに記述する。	状況の記述では学生と対象の両方の感情や言動が表現できる。	実習記録Ⅲ・Ⅳ 面接	中間 最終		
2	実習中の気がかりな出来事について倫理の原則と照らし合わせて分析している。またカンファレンスでも話し合いをしている。	医療者としての優先順位や患者・家族の気持ちなどさまざまな立場を理解したうえで看護師としての考えを表現することができる。	カンファレンスの議題提示・発言内容 実習記録Ⅲ・Ⅳ	中間 最終		
3	実施に使用した知識、より良い実施をするために活用する知識を挙げる。	対象によりよい看護をするための援助の根拠について述べるができる。	実習記録Ⅴ・Ⅵ 面接 ミーティングの議題提示と発言内容	中間 最終		
4	実施した結果により次の実践にむけての取り組みを挙げる。	実施した結果について対象によりよい看護をする目的で評価することができる。	実習記録Ⅲ・Ⅵ・Ⅶ 面接	中間 最終		
5	医療者としての情報管理や良識、マナーの必要性を考えた行動をする。	医療者として知り得た情報の管理、良識やマナーの必要性を考えた行動がとれる。	記録用紙、メモ帳の管理状態 時間管理、体調管理、言葉遣い、態度、身だしなみ	中間 最終		